

窪川（本庁）
情報発信ツール note を
活用した魅力発信業務

気付けば九月、振り返る夏。

濱崎 のどか
Hamasaki Nodoka



夏が終わり、あつという間に九月ですね。今年の夏を少し振り返ってみます。暑いのが苦手な私ですが、初夏には「今年は思い切り夏を楽しむ！」と意気込んでいました。しかし、いざ毎日が始まると「暑い：エアコンを」と四万十子とは早々に遠ざかります。だが！何もせずに夏が終わるのは勿体ない！と天邪鬼っぷりを発揮し挑んだのが、大正地域のどろんこ運動会です。田んぼに入った瞬間の泥の感触はこの夏一番の思い出です。どろんこ相撲は初戦でどろんつ。そのまま近くの川へ飛び込んで泥を落としました。大人になつて服のまま川へ入るなんて！と、この時だけは少しだけ四万十子を取り戻していたと思います。



どろんこ運動会！

八月には人生初のよさこいにも参加しました。練習では「腕をピシッと！」「腰を下げる！」と愛のある厳しい指導が飛び交い、最初こそタジタジでしたが「せつかく踊るなら最後までやりきらないと勿体ない！」と終盤でようやくエンジンがかかり本番を迎えました。私の中のガソリンは「勿体ない！」という感情なのかもしれません。暑さも汗も忘れて踊り切り、「やってみなければ触れられない文化がある」と実感した夏でした。そして迎えた九月。あと三か月も経てば今年も終わりですね。このまま一年が過ぎるのはやはり勿体ない。さてさて、今年の秋はどんなワクワクに出会えて、私は何を感じたのか、大変興味深いものです。



鳴子初握り！



尾崎 泰三
Ozaki Taizo

酷暑の畑

十和（地域振興局）
産業づくり支援

今年は酷暑という言葉どおり十和にも、四十度に迫る過酷な夏がやってきました。三年目の夏を迎え、いよいよ任期も残り一年になりましたが、無農薬農業を極めるべく積極的



収穫したかぼちゃ

私活動する株式会社しまんと流域野菜では、六月に無農薬栽培の春かぼちゃの収穫と発送を行いました。今年も大きく、色つやも良い美味しそうなかぼちゃに育っていたので、一安心しました。昨年に比べると「つる枯病」の被害がでて収穫量が予想の半分ぐらいに落ちました。近隣の生産者さんも被害があつた様で今年だけ多く出ている病気かもしれません。今はこの病気が出た圃場のつるを確実に圃場外に出すなどの対応をして秋かぼちゃの準備を行つて

います。が改めて無農薬農業の天候や環境による不確かさを痛感しました。もう一つのミッション、奥大道の「昔野菜」の継承活動の方も、六月に十和小学校四年生十名の生徒達と関係者で昨年収穫せずに残しておいた種を取る出前授業を行いました。大根、カブ、高菜の種が混ざらない様に離れてブルーシートを広げ、さやに入っている小さい種を生徒さんたちが木の棒で叩き、拾い集めていました。大根の種は大きいので大丈夫ですが、高菜とカブの種は一ミリぐらいの大きさなので、生徒さん達も落とさず集めるのに一苦労していました。が、みんな楽しく出たので良かったです。この種は今年生徒さん達と一緒に畑を作り、種まきをします。



昔野菜の種取り授業

気が付けば一年

一年が経とうとしていることに時間の速さを感じながら協力隊として自身のミッションに取り組み、四十町での二度目の生活の中では新しい出会いや発見が多く、新鮮な日々を送っています。

仕事では新商品の開発やイベントへの参加や出店など、今まで飲食店のキッチンからほとんど出ることのなかった身としてはお客さんや出店者との距離が近く内心ドキドキしながらお話したり意見を聞いたりして、次の商品づくりのヒントを探しています。そのおかげで新商品のアイデアも固まりつつあるのでお披露目できるよう試作を繰り返ししています。

プライベートでは、干し肉の燻製づくりをしたり、実家の家庭菜園を手伝ったりと、マ



イベントでのライブ

ンション暮らしでは挑戦するのが難しかったことにチャレンジしています。

時期によつては湿気で上手に肉が干せなかったり、虫や暑さで野菜が育ち切らなかったりとうまくいかないことも多いですが、それも楽しみと思つてやっています。

また、しばらく活動できていなかった音楽活動も徐々に再開でき地域のイベントで歌う機会もあり、これからまた自分の音楽を作つていこうという気持ちか湧いてきています。

ゆっくりに思えて早い一年でしたが、これからも仕事にプライベートにと楽しく取り組んで次の一年を過ごしていこうと思います。

時期によつては湿気で上手に肉が干せなかつたり、虫や暑さで野菜が育ち切らなかつたりとつまらないことも多いですが、それも楽しみと思つてやっています。

いつもの風景に学ぶ

A circular portrait of Dr. Yoko Kikuchi, a woman with short brown hair and bangs, smiling. She is wearing a dark blue jacket over a light-colored shirt. The background is a soft-focus outdoor scene with green foliage.

六月には、シーズン前のラフティングボートに
乗せていただきました。
流れにゆだね、川面で過
ごす四十万十川。水の音、
鳥の声に包まれる時間、
雑音のない「今」に心が
洗われるようでした。同
時に、増水で倒された木々
の姿からは自然の荒々し
さも教わりました。

猛暑が続き、外に出るのも怖いほどの暑さでしたね。この回覧が届くころ、朝晩は少し涼しくなっているでしょうか。私はこの夏、庭に植えたキュウリとゴーヤを早々に枯らしてしまいました。一方で、トマト・バジル・オクラ・唐辛子は暑さに耐え、少量ですが食卓を彩ってくれました。枯らしてしまった失敗を経て、小さくても実がなった喜ひと、地元食材のありがたさを改めて感じました。



隊員間の交流も◎！



川エビも好評でした

七月には、全国からお
迎えたゲストと共に
十和の食材を集めた地
産地消バーベキューを
楽しみました。牛・
鮎・川エビ・野菜・
ゆず・米・お茶など、
いくつかの集落を回っ
て地元食材を生産者さ
んから分けていただき
ました。食材集めの道
すがら、支流や町道沿
いの美しい風景にお連
れたこともまた、五
感に触れるおもてなし
となり「ごちそう」の
美味しさを引き立てま
した。ご案内を通して
私自身も「いつもの風
景」が違ったものに見
え、代々紡がれてきた
地域の暮らしの中に、
今、自分が住まわせて
いただいている喜びを
肌で感じる体験となり
ました。

／防災について、もう一度考えてみませんか？／

実は、9月1日は「防災の日」だったのをご存じですか？

台風や大雨など、自然災害が多くなる季節です。

この機会に、家族で避難場所や避難経路、非常持ち出し品を確認しておきましょう！

四万十町公式 note



四万十町役場 にぎわい創出課
Tel: 0880-22-3281
Mail: 103050@town.shimanto.lg.jp
Address: 四万十町琴平町 16 番 17 号 (西庁舎 2F)